第 64 次鹿児島県教育研究集会を開催

子どもたちが未来を語れる社会にするために

11 月 2 日・3 日の 2 日間、鹿児島市立南中学校において第 64 次鹿児島県教育研究集会を開催しました。組合員や退職者など、多くの方々が参加し、教育実践や職場・地域でのとりくみを交流し学習を深めました。

大隅支部の構成劇

「教え子を再び戦場に送るな～阻止しよう憲法改悪～」

開会行事では、大隅地区支部が構成劇「教え子を再び戦場に送るな～阻止しよう憲法改悪～」を行いました。特攻隊をはじめとする戦争の美化に警鐘を鳴らし、平和憲法を守りぬこうという内容でした。教職員としてあるいは大人として、子どもたちに何を伝えるべきなのか、また、1 人でも多くの仲間とつなげっていこうと参加者に訴えました。

教育講演会「いじめ防止対策推進法」の課題と安倍政権の教育改革　住友剛さん

また、2 日目には京都精華大学教授の住友剛さんを講師に招き、教育講演会を行いました。第 2 次安倍政権下で成立した「いじめ防止対策推進法」については、「これまでのいじめに対する施策の検証がおこなわれておらず、現場のことをよく知らずに作っている」とし、「いじめがメディアで大きくとり上げられ、学校・教育行政への不信の高まりに便乗してさまざまな教育改革の提案が行われているが、その策がなぜ有効なのかどうかは、今起きている出来事の検証がなければ分からないはずだ」と語りました。

- 分科会の様子【参加者の感想より】

- ベテランの先生方が惜しげもなく、すばらしい実践や資料の提示をして下さり、今後の参考になった。疑問も質問でき、日頃の疑問に対し自分の答えを持つことができた。（音楽教育）
- 小学校の英語教育の問題性について議論した。安倍政権が振り下ろす能力主義に対して、しっかりとおかしさを掴んで反対していかなければならないと思った（外国語教育）
- 先生方の子どもたちとの関わりを見聞きし、自分自身の学びの足りなさを強く感じた。もっともっと学びたい。ここで学んだことを早く子どもたちに伝えたい。（自治的諸活動と生活指導）
- 還流として支部で教育費について議論する場を設けて欲しい。今回、一歩踏み込んで私費教材調査にとりくむことを盛りこんだ教職員の安易な金銭感覚が二重搾取となっていることに気付いて欲しい、（教育条件整備と過密過疎へき地の教育）